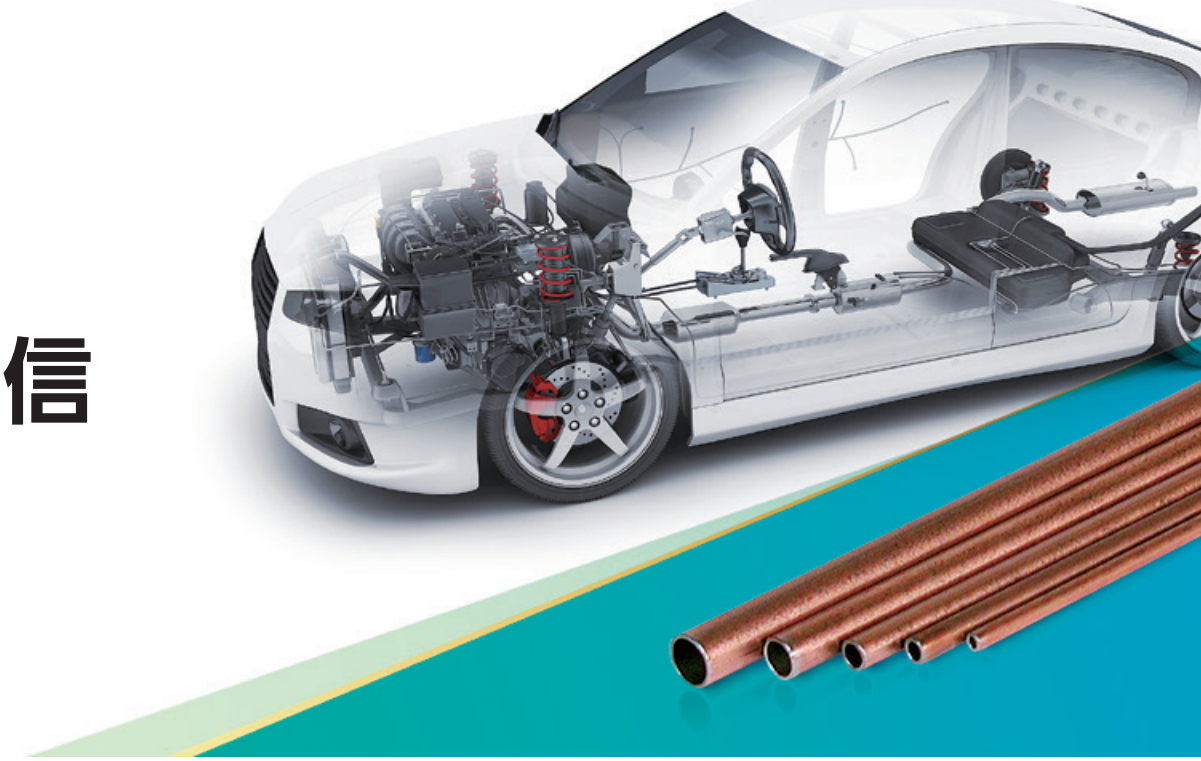
三櫻工業株式会社



株主通信

2020.4.1 - 2021.3.31

トップメッセージ

Top Message

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申しあげます。

このたびの新型コロナウイルス感染症拡大により罹患され、あるいはさまざまな影響を受けている方々に、心よりお見舞いを申しあげます。また、感染拡大防止等に尽力されている皆さまに、心より感謝申しあげます。

当社は、本年5月に2021年度～2030年度の中期経営方針を策定いたしました。将来起こりうるあらゆるリスクを想定し、企業理念である「自発・自立・迅速」を更に強化することで、アフター・コロナの世界における新たな社会的ニーズを開拓し、持続可能な成長を実現してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



取締役社長　竹田 玄哉

▸当期の配当について

当期の期末配当金は、1株当たり12円とさせていただきます。すでに、2020年12月11日に実施済みの中間配当金1株当たり3円と合わせまして、年間配当額は、1株当たり15円となります。

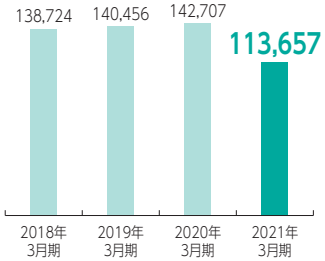
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

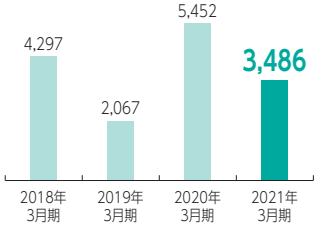
Point

当期の売上高は1,136億57百万円(前期比20.4%減)、営業利益は34億86百万円(前期比36.1%減)となりました。新型コロナウイルスの感染症拡大の影響等による売上減少を受け、前期比では減収・減益となりましたが、2020年7月以降は各地域の売上が回復したことに加え、不採算拠点の整理や構造改革を通じた固定費削減の効果、全社一丸となった固定費削減活動により、全地域において営業黒字への転換を達成するなど持ち直すことができました。経常利益については、為替差損の減少、雇用調整助成金を計上したことにより、37億66百万円(前期比20.3%減)と営業利益と比較して、減益額は抑制され、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益や受取保険金の計上もあり、36億30百万円(前期比66.7%増)と前期比で増益となりました。

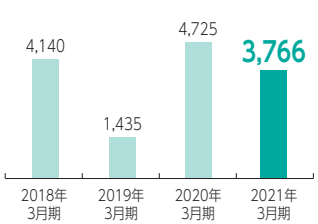
■売上高 (単位:百万円)



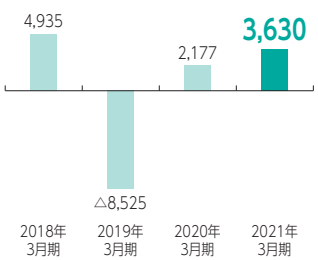
■営業利益 (単位:百万円)



■経常利益 (単位:百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益または当期純損失 (単位:百万円)



特 集

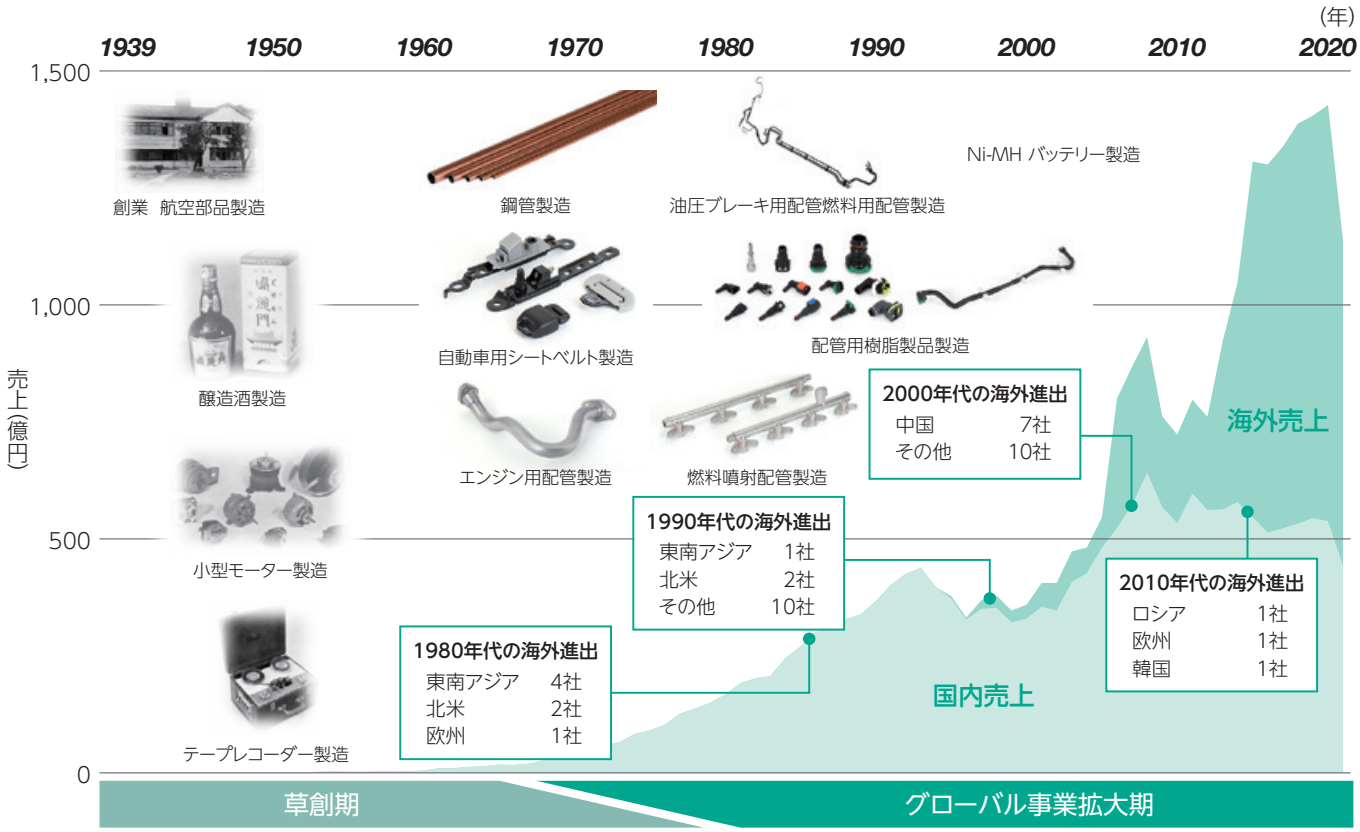
中期経営方針

事業の変遷 自己変革と多様性が三桜のDNAです

三桜工業は1939年に大宮航空工業として創業しました。戦後、醸造や家電など、様々な事業へのチャレンジを経た後、1960年代に自動車事業に参入し、世界第二位の車輌配管メーカーとして成長してまいりました。

お客様のニーズに応え、鉄、樹脂、ステンレス、アルミなど多様な材料を扱い、世界のすべての主要自動車メーカーに日々製品とサービスをお届けしています。

連結売上の推移



2021年3月末現在

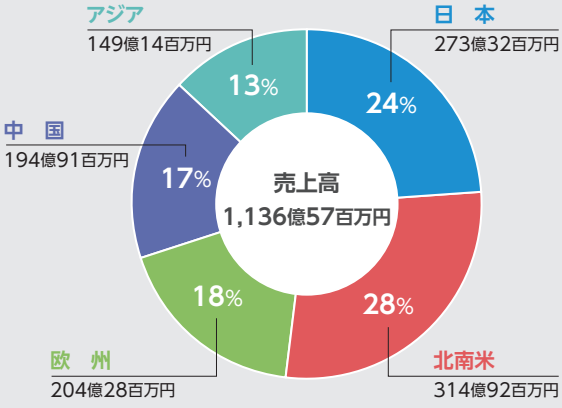
since 1939 MAY 創業 **82** 年

20 ヵ国 **82** 拠点

連結従業員総数 **8,132** 名
(単体：1,128名)

当期のセグメント別業績

Segment Information



日 本 【前期比 21.9%減】

7月以降の売上回復が継続し、構造改革と固定費削減などの施策効果も現れ、通期で黒字転換を達成しました。

北南米 【前期比 23.8%減】

上期は新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により大幅減収となりましたが、下期の売上は当初計画水準まで回復しました。また、構造改革の実施により固定費削減も進み、通期で営業黒字への転換を達成しました。

欧 州 【前期比 21.9%減】

7月以降の顕著な売上回復に加え、前期より実施しております構造改革の効果および時短勤務や政府補助金制度の活用を含めた固定費削減も大きく寄与し、前期の営業損失から大幅に利益は改善し黒字転換を実現しました。

中 国 【前期比 3.1%増】

第1四半期に一時生産を停止した影響により減収となったものの、第2四半期以降の市場回復が寄与し、通期でも前期並みの売上を達成しました。また、固定費削減や政府補助制度の申請を含めた施策効果もあり、対前期比で増益となりました。

アジア 【前期比 30.0%減】

第4四半期に売上は前期水準まで回復し、構造改革、固定費削減に努め、対前期比で減益となるも通期で営業黒字への転換を達成しました。

定量目標　アフター・コロナの世界において、平均年率6%の成長を目指します

中期方針 3本の柱

既存事業	存続する自動車市場において、圧倒的な高収益・高品質基盤を確立する
サーマル・ソリューション事業	サーマル・マネジメントのソリューションにおいて世界のトップ・プレーヤーとなり、環境負荷低減に貢献する
次世代コア事業	自動車事業にとらわれない新事業を創出する 地域経済に貢献する新たな事業を創出する

既存事業の深化　DXにより、既存事業の収益率と品質保証レベルを更に高度なものに

コロナ・ショックの対策で実行した構造改革により手に入れた収益体質を、更にレベルアップさせていきます。鍵となるのはDX※1、信頼性工学※2です。自社生産工程とサプライチェーンの状況をリアルタイムで完全に『視える化』し、一段上の高収益体質、高品質生産体制を確立します。

※1：DX=デジタル・トランスフォーメーション　　※2：信頼性工学=製品やシステムの信頼性を統計的に分析する工学手法


集合配管


樹脂燃料配管

既存事業売上
1,200億円
2030年度

既存事業営業利益率
10%以上
2030年度

サーマル・ソリューション事業の拡大　最適な熱輸送設計と品質保証力により、環境負荷を低減する

配管から熱交換器まで一貫して最適設計・生産ができる強みを活かし、サーマル・ソリューション事業の拡大を狙います。


スーパー・コンピュータ『富岳』


富岳搭載の冷却水用樹脂配管製品

サーマル・ソリューション事業売上
500億円
2030年度

EV, PHEV, HEV製品売上目標
250億円

HPC※3冷却製品売上目標
250億円

※3：HPC=ハイ・パフォーマンス・コンピュータ

次世代コア事業の創出　テクノロジーで社会の課題を解決する

生産ソリューション事業

三桜工業では加工設備や組み立て設備、検査装置を内製化しています。上流の製品、工程、設備から、下流の最終検査まで、一貫した設計を行っています。こうした生産ソリューションを社外に向けても提供し始めています。

次世代コア事業売上
300億円
2030年度

研究開発とCVC

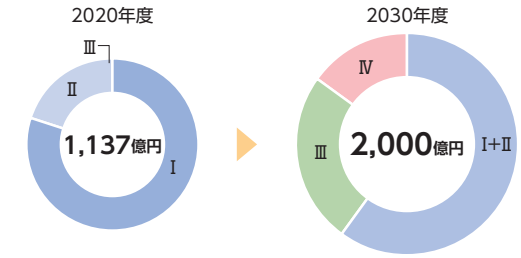
三桜工業では20名以上のPh.D.人財が、世界各国の大学や研究機関と提携して、全固体電池や熱電発電※4、レーザーや先進医療などの次世代技術の研究を日々行っています。先進的な技術を持つスタートアップ企業にも日頃から積極的に投資しています。
来たるべき市場の変化に備え、われわれは事業領域を問わず、地域貢献や環境負荷低減に貢献するテクノロジーに対しては継続して基礎研究・投資を続けていきます。

※4：熱電発電=熱電素子をもちいて熱エネルギーを電力エネルギーに変換する発電法

■定量目標

2020年度	2030年度
連結売上 1,137億円	連結売上 2,000億円
ROE 10.2%	ROE 15%以上

■事業カテゴリーのポートフォリオ変革



Ⅰ 既存事業①（内燃機関自動車のみに使用する製品）
Ⅱ 既存事業②（内燃機関自動車とEV, HEV,PHEVで使用する製品）
Ⅲ サーマル・ソリューション事業
Ⅳ 次世代コア事業

第113期定時株主総会決議ご通知

2021年6月23日開催の第113期定時株主総会において、下記のとおり報告および決議されました。

記

報告事項

1．第113期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2．第113期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

本件は、上記1．および2．の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案　取締役7名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、竹田陽三、竹田玄哉、佐々木宗俊、森地高文、浪江一公、金子素久、入山章栄の7氏が再選され重任いたしました。

第2号議案　監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、新たに三輪はるか氏が選任され就任いたしました。

第3号議案　社外取締役の報酬額改定の件

本件は、原案どおり承認可決され、社外取締役の報酬額改定を決定いたしました。

以上

会社情報

Corporate Information

■会社の概況（2021年3月31日現在）

商号	三櫻工業株式会社
英文商号	Sanoh Industrial Co., Ltd.
設立年月日	1939年3月24日
資本金	34億8,110万円
従業員数	8,132名（連結ベース）
主要製品	ブレーキチューブ、フューエルチューブ、フューエルインジェクションレール、スチールチューブ製品および樹脂チューブ製品、クイックコネクター、シートベルト用バックル・ショルダーアジャスター、設備等

■役員（2021年6月23日現在）

取締役会長	竹田陽三
取締役社長	竹田玄哉
取締役	佐々木宗俊
社外取締役	森地高文
社外取締役	浪江一公
社外取締役	金子素久
社外取締役	入山章栄
常勤監査役	三輪はるか
社外監査役	春名孝昭
社外監査役	清水知彦

■株式の状況（2021年3月31日現在）

発行可能株式総数	144,848,000株
発行済株式の総数	37,112,000株
株主数	17,195名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
神鋼商事株式会社	2,212	6.08
本田技研工業株式会社	2,000	5.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,815	4.99
スズキ株式会社	1,600	4.40
有限会社竹田コーポレーション	1,500	4.12
株式会社三菱UFJ銀行	1,419	3.90
株式会社常陽銀行	1,243	3.42
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,174	3.23
アルコニックス株式会社	780	2.14
個人株主	514	1.41

（注）持株比率は発行済株式の総数から自己株式（717,178株）を控除して計算しております。

株主メモ

Stock Information

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金基準日	期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
定時株主総会	6月に開催
単元株式数	100株
公告方法	電子公告　https://www.sanoh.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、東京都内において発行する日本経済新聞に掲載する。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 TEL. 0120-782-031（フリーダイヤル）

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

https://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 6584

いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細 https://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

（1809）

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」　MAIL：info@e-kabunushi.com

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK